



平成 20 年度 文部科学省 質の高い大学教育推進プログラム

エコファーマを担う薬学人育成プログラム

命と環境を守る行動派薬剤師・薬学研究者を目指して

第 1 回 地域伝承民間薬調査 報 告 書

平成 22 年 3 月 30 日

熊本大学薬学部

目次

調査概要	2
調査結果	5
系統別のまとめ	14
地域ごとのまとめ	16
効能・効果によるまとめ	22
調査に出てきたおもな植物	27

調査概要

目的：

伝承民間薬は、地域に伝わる伝統や文化を背景とする貴重な薬草治療に関する情報です。長い時代を経て有効なものが伝承として残ってきた経緯がありますが、最近では殆ど使われなくなり、その貴重な伝承薬の記憶が失われつつあります。そこで、エコファーマを担う薬学人育成プログラムの一環として、熊本県宇城市に伝わる民間薬の情報を地元住民から聞き取り調査し、記録に残すことを企画しました。

地域伝承の民間療法や伝統医薬について聞き取り調査をすることで、薬学と環境との関わりを理解しながら、埋もれている先人の知恵を掘り起こし、伝統医薬研究の推進や健康増進に寄与できると期待されます。また、新規医薬品開発のヒントを得ることもできるかも知れません。さらに、地域社会に出て行って見ず知らずの家庭をアポイントなしで突然訪問し、初対面の方から聞き取り調査することで行動力が養われると共に、地域の高齢者の方々と交流することにより、医療人として必要なコミュニケーション能力の向上や労わりのこころも醸成されると期待されます。

調査日時：

平成 21 年 7 月 18 日（土）9 時～18 時 00 分

調査方法：

宇城市の 3 つの地域（不知火町、豊野町、小川町）に出向き、3～4 人ひと組となって、各家庭を飛び込みで訪問したり、田畑で作業中の方や道端で出会った方などから、どのような民間薬を知っているかについてインタビューしました。その後、調査結果を持ち寄り、3 つのグループに分かれて、1) 系統別、2) 地域別、3) 薬効別に集計しました。

本プログラムは、薬学科 4 年次開講の「漢方概論」の一部として、課外授業（自由参加）の形で実施しましたが、その他の学科や学年の学生にも参加を呼びかけました。

参加学生：

薬学科 4 年生：安達泰葉、川幡見奈子、城戸優子、小森めぐみ、橋口ゆみ、脇田紋佳、
福田祥子

創薬・生命薬科学科 4 年生：藤井夏美

創薬・生命薬科学科 3 年生：庄 美里、松本千鶴

創薬・生命薬科学科 1 年生：桶谷洋嗣

指導教員：

薬用植物学：矢原正治 准教授

生薬・天然物薬物学：池田 剛 准教授

薬物活性学：磯濱洋一郎 准教授

環境分子保健学：白崎哲哉 准教授

アシスタント：

渡邊将人（薬用植物園技術職員）

吉崎光一（大学院薬学教育部 博士後期課程 1 年）

Hari Prasad Devkota（大学院薬学教育部 博士前期課程 2 年）



図1 参加者メンバー

調査を終えてのひと時
この後、アロエをさしみて
食べてみました。



調査地域



調査結果

今回、3地区合わせて合計33名の方から、164件の情報を聴取することができた。午前中は不知火で、午後からは豊野と小川で調査を実施したが、小川での調査は、時間がなくなりあまり多くの情報を集めることができなかった。

次のページから、表1にその結果を示す。



図2 聞き取り調査の様子

右はマムシの皮を指に巻いているところ。
指の炎症(ゆぼそ、指が腫れて膿む)に効く。



表1 調査結果の詳細

No	班	地域	聴取	俗名	一般名	植物分類	使用部位	調製法(使用法)	効果・効能	効能分類	備考
1	1	不知火	A	キクの花	キク	キク科	花びら	乾燥させた花びら一合に対して酒3合で煎じて飲む	ガン予防	抗腫瘍	この地域で栽培された花のみ有効
2	1	不知火	A	ドラゴンフルーツ	ドラゴンフルーツ	サボテン科	花びら	花を焼酎につける	ガン予防	抗腫瘍	
3	1	不知火	A	アロエ	アロエ	ユリ科	葉	生で食す	健康増進	滋養強壮	
4	1	不知火	B	ドクダミ	ドクダミ	ドクダミ科		乾燥させる お茶として飲む			
5	1	不知火	B	カキの葉	カキの葉	カキノキ科	葉	お茶			
6	1	不知火	B	アロエ	アロエ	ユリ科					
7	1	不知火	B		ヒメギク茶	キク科		お茶			
8	1	不知火	C	キクの花	キク	キク科	花びら	11月に花が咲くので、それを干して3月に花びらをむしる。花びら1/3袋に対してやかん一杯で沸かして毎日飲む			
9	1	不知火	C	アロエ	アロエ	ユリ科					
10	1	豊野	D	ゲンバショウコ	ゲンバショウコ	フクロヤク科	花	干していた			昔の話
11	1	豊野	D	ドクダミ	ドクダミ	ドクダミ科	葉	干したものを煎じてお茶として飲む			
12	1	豊野	E	ドクダミ	ドクダミ	ドクダミ科	花	焼酎につける	虫刺され	皮膚・消毒	
13	1	豊野	E	アサガオ	アサガオ	ヒルガオ科	葉		ムカデに刺された時	皮膚・消毒	
14	1	豊野	E	キジンソウ	キジンソウ	ユキバタ科	葉	揉んで耳につける	耳がよくなる	耳	
15	1	豊野	E	ヨモギ	ヨモギ	キク科	葉	揉んで使う	傷口の止血	皮膚・消毒	
16	1	豊野	E	ショウガ	ショウガ	ショウガ科	根	すりおろして飲む	風邪	呼吸器	
17	1	豊野	E	ビワ	ビワ	バラ科	葉	焼酎に漬ける			
18	1	豊野	E	ウメボシ	ウメボシ	バラ科		一日一個食べる	体にいい	滋養強壮	
19	1	豊野	F	ウクシノスギナ	ウクシノスギナ	トクサ科		煎じて飲む	がん	抗腫瘍	昔
20	1	豊野	F	カキトオシ	カキトオシ	シソ科		乾燥させ煎じて飲む	便秘改善	消化器	昔
21	1	豊野	G	ヒキオコシ	エンメイノウ	シソ科	葉	葉を乾燥させた後すりつぶし、飲む	腹痛の改善 胃薬	消化器	シソ科
22	1	豊野	G	キハダ	キハダ	ミカン科	皮	皮を剥いで使う	胃薬	消化器	苦味が強い 黄色い皮
23	1	豊野	G	カキの酢	カキ	カキノキ科		干し柿を熟成させる	血圧下げる	循環器	
24	1	小川	H	キクの花	キク	キク科	花びら	煎じて飲む	ガン予防	抗腫瘍	
25	1	小川	H	アロエ	アロエ	ユリ科					
26	1	小川	H	クマノイ	クマノイ	クマ科	熊の胆嚢		肝機能・アル コール	消化器	

27	2	不知火	I	ハブ茶	エビスグサ	マメ科	実	ヤカンで煎じて飲む	十二指腸潰瘍に効く	消化器	
28	2	不知火	J,K	キク	キク	キク科	花	菊の花1合を酒(日本酒)3合に詰め、朝食前おちょこ1杯分飲む	胃の調子が悪い時や、癌に効く	抗腫瘍・	他の地域から買いに来られることもある
29	2	不知火	J,K	キク	キク	キク科	花	花を乾燥して保存し、煎じて飲む	癌治療	抗腫瘍	高岡さんよりサンプルをいただく
30	2	不知火	J,K	イモノクキ	イモ	サトイモ科	茎		潰瘍治療	消化器	精進料理に使用されている、つるつるしており、イモの茎みたいなものである
31	2	不知火	L	ヨモギ	クス	キク科	葉	汁が出るくらいもんで、傷口にカズラで捲いてあてる	切り傷(止血)	皮膚・消毒	
32	2	不知火	L	ドクダミ草	ドクダミ	ドクダミ科	葉	葉をつぶしてぬる	おでき(膿のようなもの)、切り傷	皮膚・消毒	
33	2	不知火	L	キジン草	ユキノシタ	ユキノシタ科	葉	葉を焼いてあぶって用いる	おでき(膿のようなもの)、切り傷	皮膚・消毒	
34	2	不知火	L	アロエ	アロエ	ユリ科	葉	葉を切って汁を出して用いる	おでき(膿のようなもの)、切り傷	皮膚・消毒	
35	2	不知火	L	ゲンノショウコ	ゲンノショウコ	フウロソウ科	茎～葉	カラカラに陰干しして、湯で煎じて飲む	腹痛・下痢	消化器	
36	2	不知火	L	ウメボシ	ウメ	バラ科	実	焼いて灰を飲む	腹痛	消化器	
37	2	不知火	L	キジン草	ユキノシタ	ユキノシタ科			中耳炎	耳	
38	2	不知火	L	シロナンテン	ナンテン	メギ科	葉	葉を擦って粘液を飲む・葉を噛む	喉の痛み	呼吸器	
39	2	不知火	L	ダイダイ	ダイダイ	ミカン科	実	実を搾って、お湯にうすめて飲む	喉の痛み・風邪	呼吸器	
40	2	不知火	L	ツバ	ダエキ				かゆみ	皮膚・消毒	
41	2	不知火	L	ドジョウ	ドジョウ	ドジョウ科		ドジョウを患部に貼って用いる	熱さまし	解熱・鎮痛	
42	2	不知火	L	ソーダ	ソーダ			牛の調子が悪い時に飲ませる		家畜薬	
43	2	不知火	M	キク	キク	キク科	花	菊の花を乾燥させて、煎じて飲む	乳がん(手術不可能)	抗腫瘍	苦い、病院の薬も併用
44	2	不知火	M	ゲンノショウコ	ゲンノショウコ	フウロソウ科			腹痛・下痢	消化器	
45	2	不知火	M	アザミ	アザミ	キク科					
46	2	不知火	M	ウマンタバ	?		葉	陰干しして、湯で煎じて飲む	咳止め	呼吸器	
47	2	不知火	M	キジン草	ユキノシタ	ユキノシタ科			耳が痛いとき・中耳炎	耳	
48	2	不知火	M	アロエ	アロエ	ユリ科	葉	アロエの葉を焼酎漬けにする	滋養強壮	滋養強壮	
49	2	豊野	O	ウメボシ	ウメ	バラ科	実	青い梅をつける	腹痛	消化器	

50	2	豊野	O	シロナンテン	ナンテン	メギ科			喉の痛み	呼吸器	
51	2	豊野	O	キジン草	ユキノシタ	ユキノシタ科			耳の痛み	耳	
52	2	豊野	O	ヨモギ	ヨモギ	キク科			止血	皮膚・消毒	
53	2	豊野	O	ブルーベリー	ブルーベリー	ツツジ科			目の調子	目	
54	2	豊野	O	ドクダミ	ドクダミ	ドクダミ科		乾燥させて煎じて飲む	解毒	皮膚・消毒	
55	2	豊野	O	ウツボグサ	ウツボグサ	シソ科	花の穂		膀胱炎	炎症アレルギー	
56	2	豊野	O	アロエ	アロエ	ユリ科			虫刺され	皮膚・消毒	
57	2	豊野	O	キュウリ	キュウリ	ウリ科			体を冷やす・火照り改善	皮膚・消毒	
58	2	豊野	O	ダイコン (大根)	ダイコン	アブラナ科		さいの目に切り、蜂蜜につけて汁を飲む	喉の痛み	呼吸器	
59	2	豊野	O	ショウガ	ショウガ	生ショウガ科		生姜湯にして飲む	喉の痛み	呼吸器	
60	2	豊野	P	ヨモギ	クス	キク科	葉	葉をもんで汁をつける	止血	皮膚・消毒	
61	2	豊野	Q,R	ナンテン	ナンテン	メギ科		若葉をつんで、湯で煎じて汁を飲む	喉の痛み	呼吸器	
62	2	豊野	Q,R	ウメ	ウメ	バラ科		青梅をこして煮詰め、アメ状にする	腹痛・下痢	消化器	
63	2	豊野	Q,R	クマノイ (熊胆)	クマノイ	クマ科		乾燥	胃痛	消化器	
64	2	豊野	Q,R	モクサク (木酢)	モクサク			炭を焼くときにとり、お茶に入れて飲む・原液を直接つける	健康増進・原液では水虫や汗疹、へびだん(ヘルペス)に効く	皮膚・消毒	
65	2	豊野	Q,R	ネズミの子	ネズミ			何かに漬けて、患部にその汁をつけてふく	痔	痔	
66	2	豊野	Q,R	センブリ	センブリ	リンドウ科	全体	乾燥させて、湯をかけて混ぜる	腹痛	消化器	
67	2	豊野	Q,R	カライモ	サツマイモ	ヒルガオ科		焼いて、または蒸して食す	便秘	消化器	
68	2	豊野	Q,R	アズキ(小豆)	アズキ	マメ科		炊いて食す	便秘	消化器	
69	2	豊野	Q,R	ヒガンバナ (彼岸花)	ヒガンバナ	ヒガンバナ科	根	根をとって、すって患部に塗る	足の痛み	炎症・アレルギー	
70	2	豊野	Q,R	マムシの皮	マムシ	クサリヘビ科		乾燥させたものを指にかぶせる	指のはれ	炎症・アレルギー	
71	2	豊野	Q,R	マムシ	マムシ	クサリヘビ科		酒につけて、ガーゼでこして飲む	滋養強壮や熱中症	滋養強壮	
72	2	豊野	Q,R	ハチノコ (蜂の子)	ハチ			炒めて食す	滋養強壮	滋養強壮	
73	2	豊野	Q,R	ニンニク・ショウガ	ニンニク・ショウガ	ユリ科		擦って、すぐにガーゼに含ませて患部につける	目をついたとき	目	
74	2	豊野	Q,R	トウガラシ水	トウガラシ	ナス科	実	鶏の食欲がなくなったとき	鶏の食欲増進	家畜薬	
75	2	豊野	Q,R	ヨモギ	ヨモギ	キク科	根	ヨモギの根を煎じて飲む	アトピー治療	炎症アレルギー	

76	2	豊野	Q,R	キジン草	ユキノシタ	ユキバタ科	葉	擦って耳につける	耳痛治療	耳	
77	2	豊野	Q,R	キジン草	ユキノシタ	ユキバタ科	葉	葉を焼いて煮詰めドロドロにしたものを、紙に塗って貼る	腫れもの治療	皮膚・消毒	
78	3	不知火	S	アロエ	アロエ	ユリ科	葉肉	塗る	ハチに刺されたとき	皮膚・消毒	
79	3	不知火	S	キク(菊)	キク	キク科	花びら	乾燥したものを煎じて食前に飲む	胃薬	消化器	
80	3	不知火	S	ウメエキス	ウメ	バラ科	果実	種を除き、鍋で熱してエキスにする	腹痛、心臓に効く	消化器・循環器	保存がきく
81	3	不知火	S	ドクダミ	ドクダミ	ドクダミ科	葉	不明			
82	3	不知火	S	マツ(松)	マツ	マツ科	葉	不明	口内炎	炎症・アレルギー	
83	3	不知火	T	ニンニク	ニンニク	ユリ科	実	フライパンに丸ごと入れて弱火で蒸す	健康増進	滋養強壮	
84	3	不知火	U	ゲンノショウコ	ゲンノショウコ	フウロソウ科	全草	乾燥後、煎じて飲む	腹痛	消化器	
85	3	不知火	U	ヒキオコシ	ヒキオコシ	シソ科	葉	千切ってそのまま生で食べる	胃薬	消化器	
86	3	不知火	U	アロエ	アロエ	ユリ科	葉肉		虫さされ	皮膚・消毒	
87	3	不知火	U	センブリ	センブリ	シソ科		不明			
88	3	不知火	U	ドクダミ	ドクダミ	ドクダミ科		不明			
89	3	不知火	V	キク(菊)	キク	キク科	花	干したものを煮出す、お茶として食前に飲んだり、お酒を加えることもある	胃、ガン	抗腫瘍	
90	3	不知火	W	フチ	ヨモギ	キク科	葉	揉んで傷口につける	外傷	皮膚・消毒	
91	3	不知火	W	ウマ(馬)	ウマ	ウマ科	油	塗る	火傷	皮膚・消毒	
92	3	不知火	W	ウメ(梅)	ウメ	バラ科	果実	炭にしてお湯に溶かして飲む	風邪薬	呼吸器	
93	3	不知火	W	ウメ(梅)	ウメ	バラ科	果実の皮	こめかみに貼る	頭痛	解熱・鎮痛	
94	3	豊野	X	ゲンノショウコ	ゲンノショウコ	フウロソウ科	葉	乾燥、煎じてお湯で飲む			
95	3	豊野	X	ドクダミ+ゲンノショウコ+シソ	ドクダミ+ゲンノショウコ+シソ	ドクダミ科	葉		皮膚がつよくなる。かぶれに効く	皮膚・消毒	
96	3	豊野	X	ドクケン	ドクケン		葉	葉をつんで塗る	血が止まる	皮膚・消毒	菊によく似ているギザギザした葉。除草のため今は生えていない
97	3	豊野	Y	サトイモ	サトイモ	サトイモ科	茎	生のまま汁をしぼる	蜂さされに効く	皮膚・消毒	
98	3	豊野	Y	ドクダミ	ドクダミ	ドクダミ科	葉	カボチャの葉に包んで蒸し焼きにする	ねぶ、くちがさ(お灸)に効く(お灸のもの)	皮膚・消毒	
99	3	豊野	Y	スギナ	スギナ	トクサ科		煎じて飲む			現代農業に掲載
100	3	豊野	Y	スギナ	スギナ	トクサ科	葉	汁をしぼる	うどんこ病	植物用薬	

101	3	豊野	Y	ショウガ+ ニンニク+ コショウ+ 油かす	ショウガ+ ニンニク+ コショウ+ アブラカス	ショウガ科		ブレンドして汁をしぼる			
102	3	豊野	Y	ショウガ+ 紅茶	ショウガ+ コウチャ	ショウガ科	ショウガ: 根(乾燥)		ダイエット	その他(美容)	
103	3	豊野	Y	クロダイズ	ダイズ(ク ロダイズ)	マメ科	豆	炒ってきなこを作る			
104	3	豊野	Y	ホタル草	ホタルソウ	セリ科					シダの仲間
105	3	豊野	Y	シソ+ドク ダミ	シソ+ドク ダミ	シソ科		煎じて飲む	肌がきれいになる	その他(美容)	
106	3	豊野	Y	ウコン	ウコン	ショウガ科		乾燥して粉碎	胃に効く	消化器	
107	3	豊野	Y	ドクダミ	ドクダミ	ドクダミ科		お茶にする	利尿、日焼け、あせも、皮膚の弱い人に	皮膚・消毒 (利尿)	そのまましくは市販のお茶とブレンド
108	3	豊野	Y	?	?			乾燥させて飲む	糖尿	糖尿病	
109	3	豊野	Y	シソ+ドク ダミ	シソ+ドク ダミ	シソ科					
110	3	豊野	Y	ハトムギ+ ドクダミ	ハトムギ+ ドクダミ	イネ科		夜に煎じて冷やし常備	健康のために	滋養強壮	市販のお茶とブレンド
111	3	豊野	Y	ゲンノショ ウコ	ゲンノショ ウコ	フウロソウ 科					
112	3	豊野	Y	アマチャ ズル	アマチャ ズル	ウリ科					今は流行っていない
113	3	豊野	Y	ユキノシタ	ユキノシタ	ユキノシタ 科		飲む	耳に効く	耳	
114	3	豊野	Y	ニラ	ニラ	ユリ科	葉	もんで傷口に	消毒	皮膚・消毒	
115	3	豊野	Y	ヨモギ(フ ツ)	ヨモギ(フ ツ)	キク科		もんで傷口に		皮膚・消毒	
116	3	小川	Z	焼酎	焼酎			ミシン糸で傷口を縫って、上から焼酎(25℃)で消毒する	傷口を治す	皮膚・消毒	オキシドールより痛い
117	3	小川	Z	ドクダミ	ドクダミ	ドクダミ科		カボチャの葉で包んだものを燃やして、冷えたら中のドクダミを傷に塗り、数時間放置する	化膿を治す	皮膚・消毒	
118	3	小川	Z	ドクダミ	ドクダミ	ドクダミ科		ドクダミを陰干しして、煎じて飲む(お茶より濃い)。ペットボトルに入れて取っておく	健康増進、下痢を治す	消化器	それでも治らないときは、牛乳を冷やして飲む
119	4	不知火	a	ドクダミ	ドクダミ	ドクダミ科		煎じてのむ。あせもの跡に煎じた液をガーゼに染み込ませて貼る	あせも	皮膚・消毒	

120	4	不知火	a	アmaksサノ カイズイ(天 草の海水)	カイズイ		水		アトピー	炎症・アレルギー	
121	4	不知火	a	ヨモギ	ヨモギ	キク科		揉んで傷口につける	切り傷	皮膚・消毒	
122	4	不知火	b	フチ	ヨモギ	キク科					
123	4	不知火	b	ゲンノショ ウコ	ゲンノショ ウコ	フウロソウ 科					
124	4	不知火	b	ドクダミ	ドクダミ	ドクダミ科					
125	4	不知火	b	ハキドウシ	カキドウシ	シソ科		陰干しして、ドクダミと一緒に煎じて 飲む	膝痛	炎症・アレルギー	土手に這うヤツ。 土手に紫色の花。
126	4	不知火	c	ウメエキス	ウメ	バラ科	果肉	梅肉を煮詰めて使う			
127	4	不知火	d	キク(菊)	キク	キク科	花(白い 内)に取る)		腹下し(食事が 出来ないとき)	消化器・抗腫 瘍	11月に取る。ガン に効くらしい
128	4	不知火	e	アロエ	アロエ	ユリ科	果肉	かじる、塗る	虫さされ	皮膚・消毒	
129	4	不知火	e	シオミズ (塩水)	シオミズ				あせも	皮膚・消毒	
130	4	不知火	e	キク(菊)	キク	キク科	花	煎じて飲む			
131	4	不知火	e	ネギ	ネギ	ユリ科					
132	4	不知火	e	ダイコン (大根)	ダイコン	アブラナ 科					
133	4	不知火	e	キンカン	キンカン	ミカン科					
134	4	不知火	e	タマゴザ ケ(卵酒)	タマゴザ ケ						
135	4	不知火	e	シジミ	シジミ	シジミ科					
136	4	豊野	f	ドクダミ	ドクダミ	ドクダミ科	花	焼酎(25度くらい)に漬ける	かゆみ止め・虫 さされ・あせも	皮膚・消毒	6月の朝露がある 時に収穫。合う人と 合わない人がいる
137	4	豊野	f	ムカデ	ムカデ	ムカデ科	全虫	ムカデを取って椿油に漬ける。	化膿止め、痛 み止め(竹、 釘が刺さった 時など)、痔に もよい。	皮膚・消毒	
138	4	豊野	f	ウコン	ウコン	ショウガ科					
139	4	豊野	f	ヒキオコシ	エンメイソ ウ	シソ科		粉にして、水や湯に溶かして飲む。	胃もたれ(耳 かき2杯分くら い)、消化促 進剤	消化器	
140	4	豊野	f	ユリクズ	ユリクズ	ユリ科	根	根を蒸してミキサーにかけ、沈殿し たものを乾燥させ、粉にする。粉を 煎じて(煮る?)服用する。	下痢止め	消化器	

141	4	豊野	f	ゲズ	カラタチ	ミカン科			歯の痛み止め	解熱・鎮痛	
142	4	豊野	f	マムシ	マムシ	マムシ科	皮	焼酎、水に浸して患部に巻く。	指の炎症(ゆぼそ、指が腫れて膿む。病院に行くと手術で一関節くらい取られる)に効く。	炎症・アレルギー	
143	4	豊野	g	ゲンノショウコ	ゲンノショウコ	フウロソウ科					
144	4	豊野	g	ネムリギ	ネムリギ(ネムノキ)	マメ科		塩で揉んで飲む。	下痢に効く	消化器	終戦後の話
145	4	豊野	g	フツ	ヨモギ	キク科		摘んで、揉んで、切り傷に貼ると血が止まる(5分もしない内に)。乾燥してもぐさに。	切り傷(草の切り傷、大怪我をした時にも)の止血	皮膚・消毒	3月の節句に収穫
146	4	豊野	g	サトイモ(里芋)	サトイモ	サトイモ科	茎		虫さされ(特に蜂)	皮膚・消毒	
147	4	豊野	g	クサキ	クサキ	クマツヅラ科			下痢止め	消化器	臭い
148	4	豊野	g	カリン	カリン	バラ科		カリン酒にして飲む。水じゃ溶けないのでお湯で溶く。	咳止め	呼吸器	
149	4	豊野	g	塩湯	シオミズ			風呂に入れる	あせも	皮膚・消毒	
150	4	豊野	g	ショウブ	ショウブ	サトイモ科(ショウブ科)		風呂に入れる			
151	4	豊野	g	ユズ	ユズ	ミカン科		風呂に入れる。丸のままはダメ。割ったり潰して入れる。	体が温まる	その他(冷え性)	
152	4	豊野	g	ニンニク	ニンニク	ユリ科		醤油漬け。		滋養・強壮	匂いのするのが良い。アリナミンの動脈注射をした時にも、全身循環して口から匂いがする。
153	4	豊野	h	ゲズ	カラタチ	ミカン科	果実	3ヶ月以上乾燥させた実の中の芯が箸で押せるくらいが一番効く。5月の節句後に小さいのから(下の方から)取って行く。	乳がんの手術後。高熱。虫(蜂)さされ。	皮膚・消毒	乳がんの手術後に服用して有効だったとのこと。
154	4	豊野	h	ドクダミ	ドクダミ	ドクダミ科	葉	花が終わってから、根元から刈り取る。日光で十分乾燥してから使う。一回4〜12gを煎服する。	刺傷、結核菌、白癬菌、利尿剤	皮膚・消毒(抗菌？, 利尿)	日光で十分乾燥してから使う。
155	4	豊野	h	ユキノシタ	ユキノシタ	ユキノシタ科	葉	ニキビ、耳ダレにユキノシタのつぎ汁をつけると効果がある。	ニキビ、耳ダレ	皮膚・消毒・耳	

156	4	豊野	h	ユキノシタ	ユキノシタ	ユキノシタ科	葉	葉を火であぶって柔らかくして腫れ物に貼ると膿を吸い出す。	腫れ物	皮膚・消毒	
157	4	豊野	h	ナンテン	ナンテン	メギ科	葉	葉は防腐作用があるので今でも配りものや贈答にする魚や赤飯の上にナンテンの葉を乗せる風習がある。	防腐作用	その他(防腐)	
158	4	豊野	h	ナンテン	ナンテン	メギ科	果実	果実は咳止めの民間薬として広く用いられている。一日 5～10g を煎じて飲む。	咳止め	呼吸器	塩さけの塩出しに入れると、塩がよく抜け、生サケのようになるという。
159	4	豊野	h	ボケ	ボケ	バラ科	果実	果実を輪切りにして乾かし、貧血に煎服する。暑気当たりや吐き気に乾燥した果実 5～10g を煎じて服用する。	貧血、暑気当たり、吐き気	その他(熱症)	
160	4	豊野	h	カリン	カリン	バラ科	果実	秋に実を取り、輪切りにして日光で乾かす。一日 5～10g を 200ml で煎じて服用する。	補血剤、整腸剤、暑気当たり	消化器	輪切りにした果実を室内に下げておくとき芳香を放つので、室内賦香剤としても良い。
161	4	豊野	h	アンズ	アンズ	バラ科	果実	1～4g を砕いて煎じ服用する。酒につける。	気管支炎、喘息	炎症・アレルギー	
162	4	豊野	h	ウコン	ウコン	ショウガ科	根茎	一日 5～10g を 200ml で煎じて服用する。	利胆剤、止血剤	滋養強壮	「懷中妙薬集」に吐血にウコンの粉一匁(約 3.7g)水で飲んでも良いとある。
163	4	豊野	h	ヒキオコシ	ヒキオコシ	シソ科	葉	苦味健胃剤として一日 5g を煎じて飲む。胃けいれんには、ヒキオコシ 1g とギンギシの根 5g を一緒に煎じて温服する。		消化器	ブレクトランチン、エンメインなどの苦み成分が含まれ、
164	4	豊野	i	ゲズ	カラタチ	ミカン科	果実、とげ	10～20 個やかんで煎じて飲む。または塗る。刺が刺さった時はカラタチの刺で取ると化膿しない。	炎症(膿)、破傷風の予防薬、あせも	皮膚・消毒	6月が収穫に最適。みかんの台木にするとみかんが丈夫に育つ。

1. 系統別のまとめ

今回の調査で抽出された 164 件の民間薬の内、植物由来が 138 件、その他（動物や無機物）由来が 26 件で、民間薬は植物由来が多いことがわかる。まず、植物の科名ごとに分類してみた（表 1）。その結果、キク科植物が最大の 21 件（12.8%）であった。その原因として、この地方で以前に「菊の花（生薬：キクカ）」を栽培していた実績があることが挙げられる。今のところ、菊花栽培は盛んに行われていなかったため、今後、産業として定着するか疑問であるが、効果を実感している方が多数いることから、このまま無くなるのはもったいないと感じられた。植物の種類についてみると、ドクダミ（17 件、10.4%）、アロエ（10 件、6.1%）、ヨモギ（9 件、5.5%）、ゲンノショウコ、ウメ（各 8 件、4.9%）が多く、全国的共通に親しみ深い民間薬が上位を占めることがわかった。一方、「キクカ（キク科）」と「キジンソウ（ユキノシタ科）」は、全国的に主要な民間薬ではないことから、宇城地方に特徴的な民間薬と思われる。また、用途として大部分の民間薬は胃腸系の薬が多いのに対して、宇城地方では、キクカを「ガン予防」に、キジンソウを「耳の治療」に用いていることも特徴的である。

表2 系統別のくまとめ

植物科名	件数	内訳(件数)
キク科	21	キクカ(10)、ヨモギ(9)、アザミ(1)
ドクダミ科	17	ドクダミ(17)
ユリ科	16	アロエ(10)、ニンニク(3)、ニラ(1)、ユリクズ(1)、ネギ(1)
バラ科	12	ウメ(8)、アンズ(1)、カリン(1)、ボ(1)ケ、ビワ(1)
ユキノシタ科	10	キジンソウ(10)
シソ科	9	ヒキオコシ(4)、カキドウ(2)、シソ(2)、カゴソウ(1)
フウロソウ科	8	ゲンノショウコ(8)
ショウガ科	7	ショウガ(4)、ウコン(3)
ミカン科	7	カラタチ(3)、キンカン(1)、ユズ(1)、キハダ(1)、ダイダイ(1)
サトイモ科	4	サトイモ(3)、ショウブ(1)
マメ科	4	エビスグサ(1)、アズキ(1)、ダイズ(1)、ネムノキ(1)
メギ科	4	ナンテン(4)
トクサ科	3	スギナ(3)
アブラナ科	2	ダイコン(2)
カキノキ科	2	カキノハ(2)

ヒルガオ科	2	アサガオ(1)、サツマイモ(1)
リンドウ科	2	センブリ(2)
イネ科	1	ハトムギ(1)
クマツヅラ科	1	クサキ(1)
サボテン科	1	ドラゴンフルーツ(1)
セリ科	1	ホタルソウ(1)
ツツジ科	1	ブルーベリー(1)
ナス科	1	トウガラシ(1)
ヒガンバナ科	1	ヒガンバナ(1)
マツ科	1	マツ(1)
その他	26	

その他の植物分類以外の民間薬としては、以下のものが使用されていた。

海水（汗疹・皮膚消毒）、木酢（健康増進・原液では水虫や汗疹、ヘルペス）、ネズミの子（痔）、蜂の子（滋養強壮）、馬油（火傷）、マムシ（の皮）（滋養強壮、熱中症・指の腫れ）、熊胆（肝機能・アルコール障害・胃痛）、ドジョウ（解熱鎮痛）、ムカデ（化膿止め）。

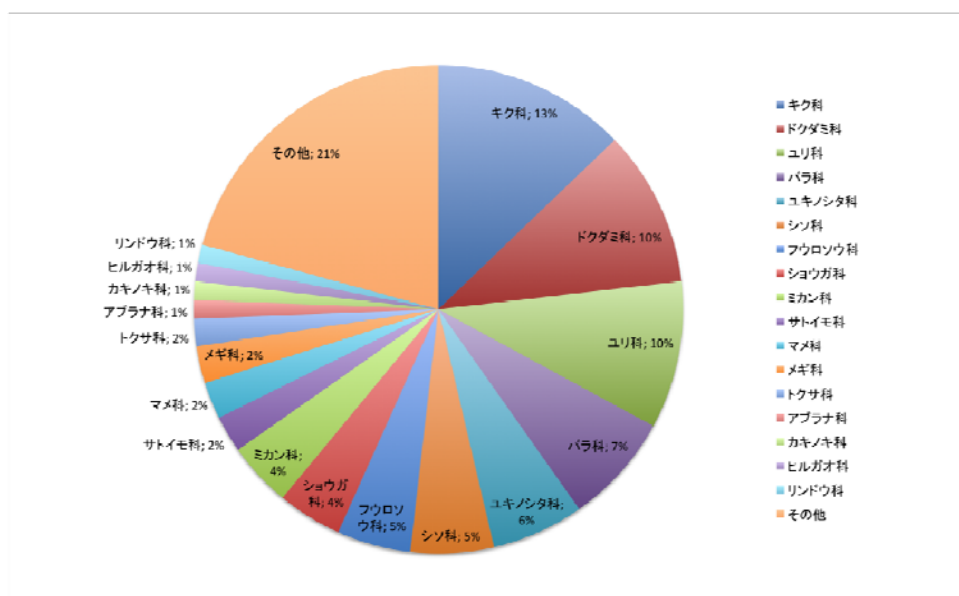


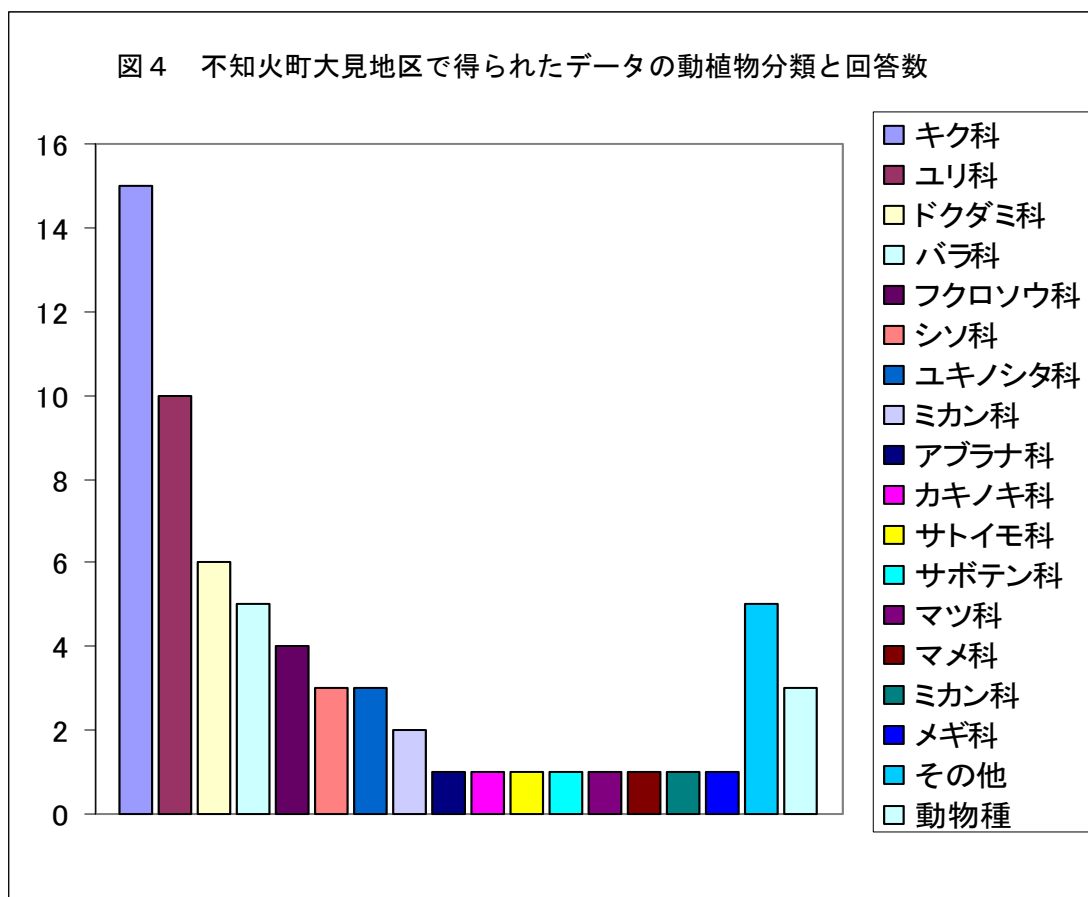
図3 科目ごとの割合

2. 地域ごとのまとめ

不知火町大見地区

調査人数 … 17人

調査民間薬種… 64種



【その他】

- ・ 唾液 (1) …かゆみに効く
- ・ ソーダ (1) …牛の調子が悪い時に飲ませる
- ・ 海水 (1) …アトピーに効く
- ・ 塩水 (1) …汗疹に効く
- ・ 卵酒 (1)

【動物種】

- ・ ウマ科 (1) …馬の油を火傷に塗る
- ・ ドジョウ科 (1) …熱さましにドジョウを患部に貼って用いる
- ・ シジミ科 (1)

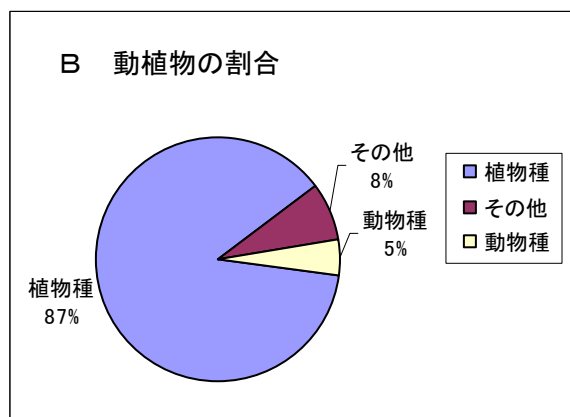
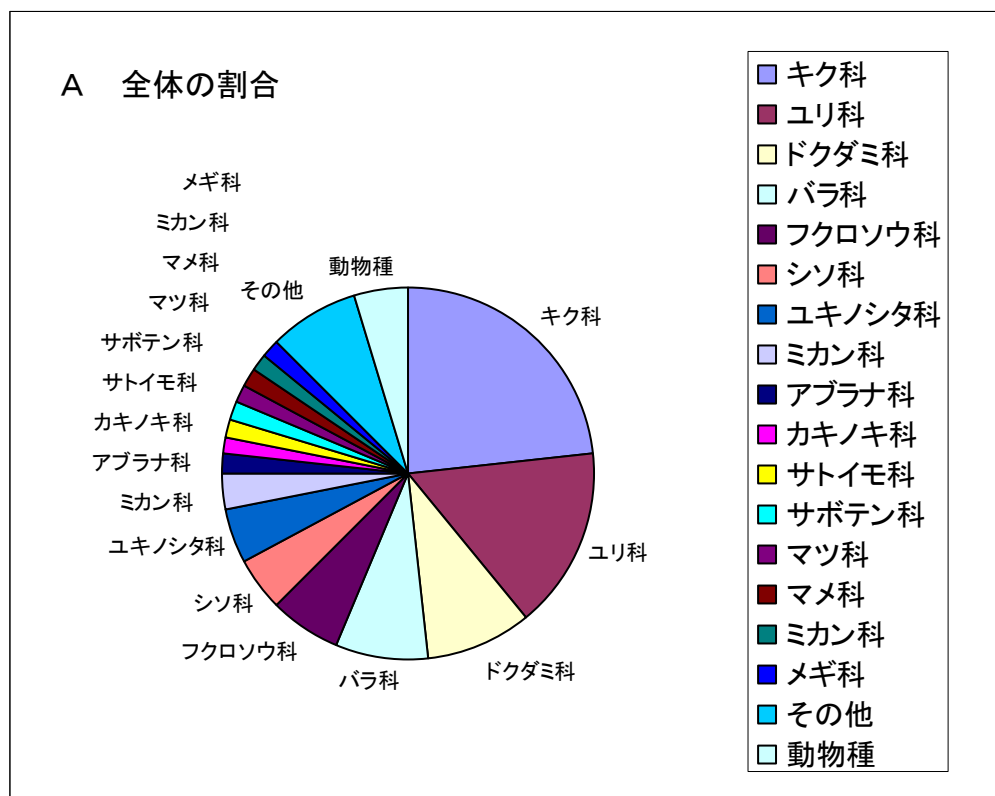


図5 不知火町大見地区で得られたデータの割合

***気づいたこと**

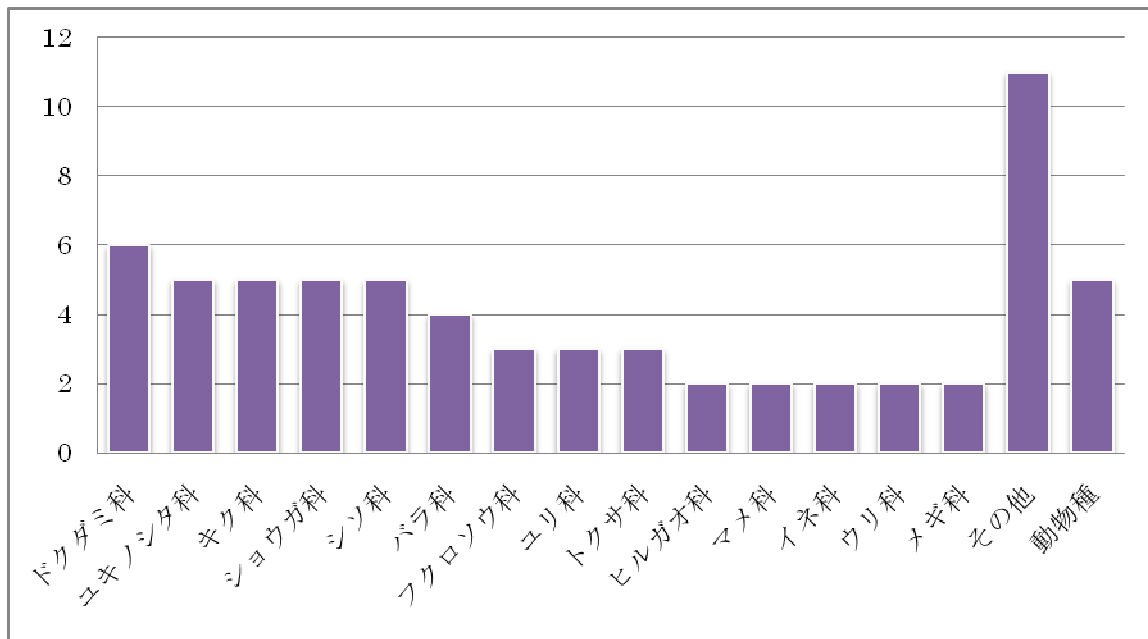
- ・ 不知火大見地区では、特徴的なものとしてキクの花びらを抗腫瘍の効能を期待して用いる傾向が強いことがわかった。
- ・ その他、アロエ・ドクダミなどは他の地域同様に上位を占めており、これらは滋養強壮・皮膚消毒・消化器など、様々な効果効能を期待して用いられる場合が多く見られた。
- ・ 動物種も民間薬として用いられることがあると知り、またその調製法や期待される効果効能が大変興味深いと感じた(ドジョウなど)。

豊野町中間地区

調査人数 … 11人

調査民間薬種… 65種

図6 豊野町中間地区で得られたデータの動植物分類と回答数



【その他】ミカン科（1）カキノキ科（1）サトイモ科（1）リンドウ科（1）
ヒガンバナ科（1）セリ科（1）ナス科（1）ツツジ科（1）
アブラナ科（1）不明（2）

【動物種】クマ科（1）ネズミ科（1）クサリヘビ科（2）ハチ科（1）

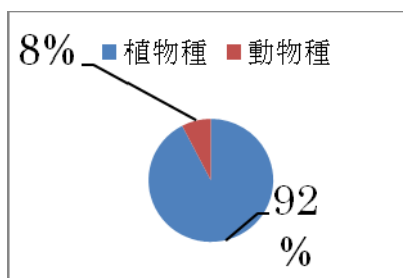
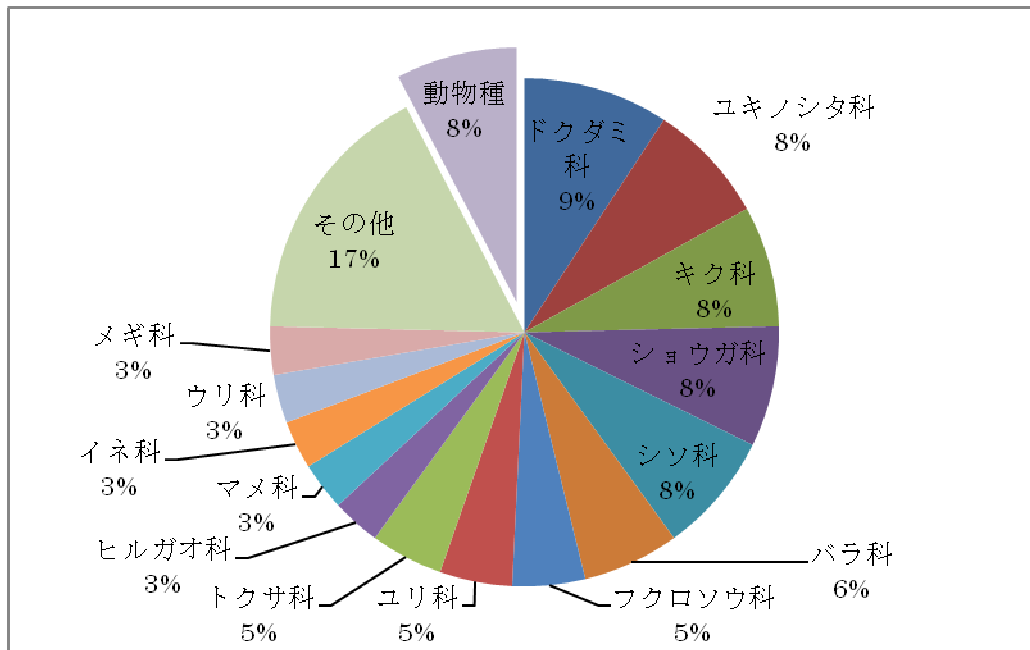


図7 豊野町中間地区で得られたデータの割合

*気付いたこと

- 一般名と呼び方が違っていたのは、キジン草＝ユキノシタ・モクサク＝タケでした。
- 普段から食事に使っているもの（大根、キュウリなど）を使用していることが多いように思いました。
- 地域特有の民間薬というのは見られず、ドクダミなどの一般的なものをあげられる方が多かったようです。
- 全体としては8%ですが、いくつかの種類の動物種（クマ・マムシ・ネズミ・ハチ）があげられていたことがおもしろいと思いました。
- トウガラシを鶏の食欲増進に用いられるということで、ヒトだけでなく家畜薬としても使われているのは興味深いと思いました。

豊野町上郷地区

調査人数 … 4 人

調査民間薬種… 26 種

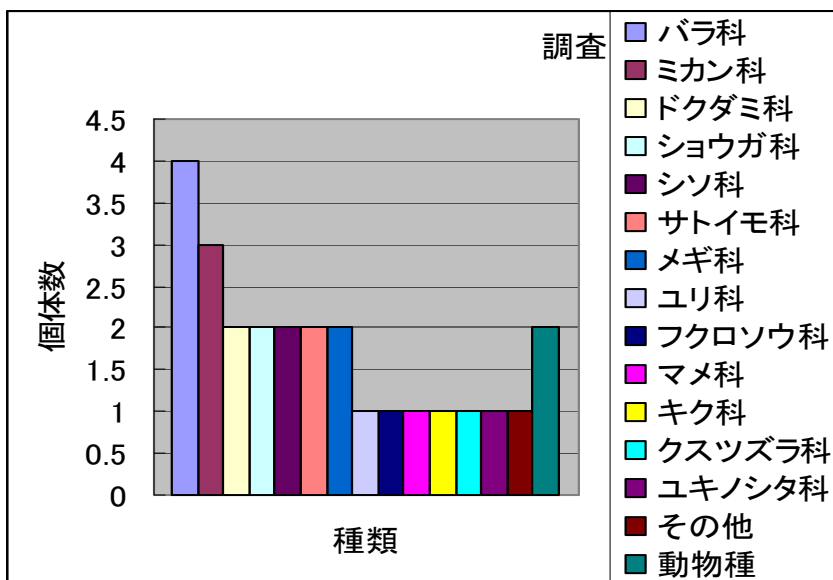


図8 豊野町上郷地区で得られたデータの動植物分類と回答数

【その他】 シオミズ (1)

【動物種】 マムシ科 (1) ムカデ科 (1)

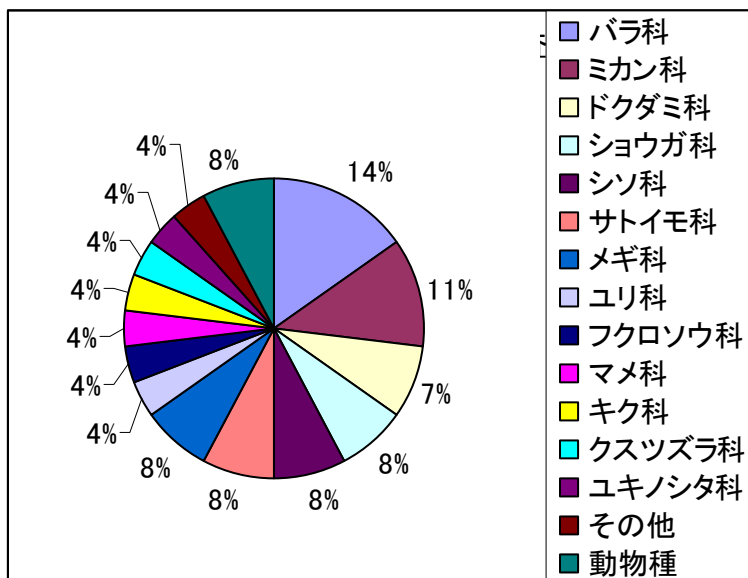


図9 豊野町上郷地区で得られたデータの割合

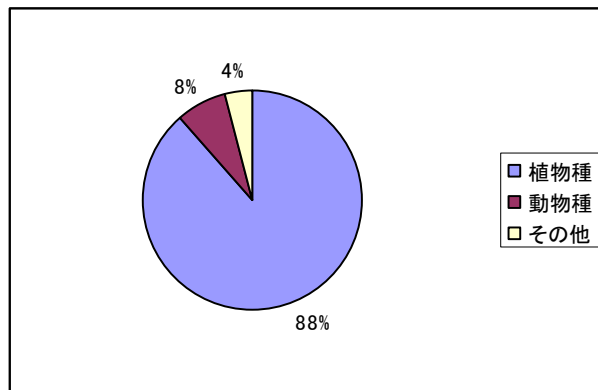


図 10 豊野町上郷地区で得られたデータの動植物割合

＊ 気付いたこと

- ・ 極めて多い植物種はなく、いろんな植物種がまばらにでてきていることが分かります。これは、話を聞かせていただいた方の人数が4人と少数である影響もあるかと思われます。
- ・ この地域特有のものというのは見られなかったように感じます。私の祖母等に聞いても出てくるようなものがほとんどであったように思います。
- ・ ムカデに刺されると腫れたりするのに、ムカデを椿油につけて、化膿止め・痛み止めに使うという話があり、非常に興味深く思いました。
- ・ 一般名、ヒキオコシ（シソ科）をエンメイソウと呼んでいるのが、おもしろいなと感じました。

【総括】

不知火大見地区ではキクの花が地域特有の民間薬として挙げられ、抗腫瘍を目的として用いられる傾向が多いようであった。

豊野町においては、中間地区・上郷地区のいずれにおいても地域特有の民間薬は見られなかったが、地域特有の呼び名（キジン草＝ユキノシタ・モクサク＝タケ、ヒキオコシ＝エンメイソウ）があり、大変興味深かった。

また不知火大見地区、豊野町の全地域に関して、植物種ではドクダミやアロエなどの一般的な民間薬が上位を占めているようであった。一方で、動物種では全体の割合も多くはなく地域間でもバラつきがみられた。

様々な植物種・動物種が挙げられたが、いずれも地域特有というよりも各々の家庭特有のものが多くみられ、大変参考になったし勉強にもなった。

3. 効能・効果によるまとめ

宇城市不知火町，豊野町および小川町で実施した伝承民間薬に関する聞き取り調査では、効能・効果として不明確なものを除くと、31軒でのインタビューから127件の回答を得た。ここでは、その情報を対象疾患や症状を基に分類し、考察を加えた。

今回得られた民間薬が治療対象とする疾患あるいは症状を大別すると下記の通りであった（表3および図11）。

表3. 宇城市での調査で得られた民間薬が治療対象とする疾患（症状）の分類

疾患種類	民間薬品目数
消化器系	20
皮膚科・消毒	6
炎症・アレルギー	12
呼吸器系	8
滋養強壮	7
抗腫瘍	3
解熱・鎮痛	3
眼科	2
利尿	2
循環器系	2
耳	1
痔	1
糖尿病	1
その他	9

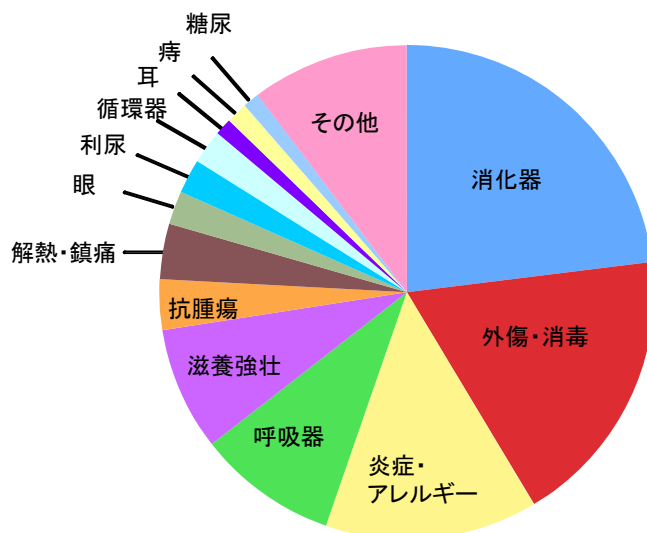


図11. 宇城市での調査で得られた民間薬が治療対象とする疾患（症状）の割合

一般に、民間薬は自覚症状の緩和を目的として用いる場合が多い。そのような観点から今回の結果を見てみると、消化器系、外傷・消毒および炎症・アレルギーなど、自覚症状が現われやすい疾患への適用が比較的多いことは、宇城地区での民間薬の使用法も従来のものとほぼ同様と考えられた。一方、抗腫瘍（3 品目）、循環器系（高血圧症，2 品目）および糖尿病（1 品目）など、明らかな自覚症状を伴わないと考えられる現代医学的な疾患についても、利用例があることは興味深い。元来は、別の目的で使用されていた伝統薬が、これらの疾患にも効くのではないかと近代に考えられ、用いられるようになったものと考えられる。

さらに、これらの疾患（症状）と使用される民間薬の内訳を以下に記す。

○ 消化器系

腹痛……ウメ（エキス，ウメボシ，青梅），クマノイ，ゲンノショウコ，センブリ，
ヒキオコシ
下痢……ウメ（青梅），ゲンノショウコ，ドクダミ，ネムリギ，ユリクズ
便秘……カキトオシ，カライモ，アズキ
肝機能…クマノイ

ゲンノショウコやセンブリは、全国的にもっともよく知られる健胃整腸薬で、本調査でも 3 軒の家庭で消化器系の不調にゲンノショウコ用いるとの回答があった。一方、カキドオシは、一般的には利尿薬として用いられる場合が多く、また糖尿病への有効性も学会などで発表されている。整腸作用を期待するのは珍しい例かも知れない。

○ 外傷・消毒

止血……ヨモギ，ドクケシ
おでき，ニキビ，はれもの……7 件ドクダミ（葉），アロエ，ユキノシタ
あせも……ドクダミ（葉），ドクダミ（花），ゲズ，海水
やけど……馬油

アロエ，ドクダミおよびヨモギなど比較的有名な植物が複数の家庭で回答されたことは予想した通りであった。アロエには抗ヒスタミン作用，またドクダミにもヒスタミンの遊離抑制作用があることが知られ、理にかなった使用例と考えられる。ユキノシタも 4 軒の家庭で皮膚疾患に用いるとの回答があり、民間薬として広く知られていることが分かった。

一方で、漢方薬では皮膚疾患にはケイガイ（シソの花穂）やレンギョウ等がよく用いられるが、これらの生薬に関する回答はなかったのは、意外であった。

○ 炎症・アレルギー

虫さされ……アロエ、サトイモ（茎）、アサガオ、ドクダミ（花）、ゲズ、カラタチ

膀胱炎……ウツボグサ

アトピー性皮膚炎……海水、ヨモギ（根）

膝痛……カキドウシ

足痛……ヒガンバナ（根）

口内炎……マツ（葉）

指炎症……マムシ（皮）

ウツボグサ（夏枯草）の抗炎症作用はよく知られ、民間薬として肝炎、腎炎および膀胱炎などへ適用する例は全国的にも多い。また、カキドウシは、一般には抗浮腫薬として知られ、膝痛への応用などは、確かに合理的な使用例と言えるかも知らない。

一方、漢方でもっともよく知られる抗炎症薬であるカンゾウなどが全く回答になかったのは意外である。

○ 外傷・消毒

外傷（止血）……アロエ（葉）、クス（葉）、ヨモギ（葉）

外傷（消毒）……カラタチ（果実）、ドクダミ、ニラ、ムカデ（全虫）、モクサク、ユキノシタ（葉）

ニキビ、おでき……アロエ（葉）、ドクダミ（葉）、ユキノシタ（葉）

火傷……馬油、キュウリ、

あせも……塩水（入浴）、

外傷は民間薬としての使用法としては、上記の消化器系の障害と並んでもっとも多いと予想したが、確かに多くの回答が得られた。アロエ、ドクダミ、ヨモギおよびユキノシタなど、民間薬としてポピュラーな植物が複数の家庭で回答された。

○ 呼吸器系

咳止め……カリン、ナンテン（果実）

咽頭痛……ショウガ（根）、ダイコン、ダイダイ（果実）、ナンテン（葉）

風邪……ウメ（果実）、ショウガ（根）、
気管支炎、喘息……アンズ（果実）

鎮咳・去痰作用をもつ植物も多く知られており、ナンテン、カリン、アンズなどは予想されたものの一つである。その他に、マオウ、ナツメやカラスウリなども気道系の障害に用いる生薬として有名だが、今回の調査では回答がなかった。

○滋養強壮

滋養強壮……アロエ（葉）、ウコン（根茎）、ウメ（梅干し）、ニンニク、蜂の子、マムシ

○抗腫瘍

癌予防……キク（花）

癌治療……ウクシノスギナ、キク（花）

キクの花が癌に有効との回答が、実に 6 軒の家庭からあったのは意外であった。キク花は、一般的には頭痛、めまい、耳鳴りなどに用いられる例が多いが、今回調査した地域では抗癌薬としてよく認識されていることが分かる。しかし先にも述べたように、癌などの現代医学的疾患に対する使用法は伝統的とは考え難く、この地域でキク花=抗癌薬に至った経緯をさらに調べてみる必要があるかも知れない。

○解熱、鎮痛

頭痛……ウメ（果実）

歯痛……カラタチ

解熱……ドジョウ

○眼科

目のキズ……ニンニク＋ショウガ

目の調子……ブルーベリー

○循環器系

抗血圧……カキ（干し柿）

○利尿

利尿……ドクダミ（葉）

○耳科

聴力回復……ユキノシタ（葉）

中耳炎（耳痛）……ユキノシタ（葉）

6軒の家庭で、「耳の障害にはユキノシタ」との回答があり、上記のキクと同様にこの地域でよく知られる民間薬と考えられる。確かに中耳炎の治療のための民間薬としてユキノシタは有名で、主に抗炎症作用が基礎となると推定される。聴力回復に有効との回答は、耳のトラブルにはユキノシタという使用法が解題解釈されたものかも知れない。

○痔

痔……ネズミの子、ムカデ（全虫）

○その他

家畜薬……トウガラシ（実、鶏の食欲増進に）、ソーダ（牛の健康維持に）

農薬……スギナ（葉、うどん粉病に）

貧血……ボケ（果実）

冷え性……ユズ（果実）

防腐……ナンテン（葉）

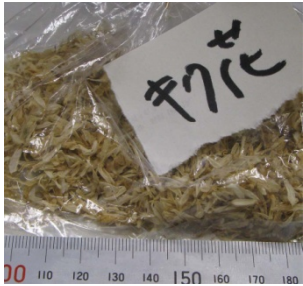
美容……シソ+ドクダミ

まとめ

今回調査した地域での民間薬の使用目的は、消化器および皮膚の障害、外傷など全国的な傾向とほぼ同様の目的が殆どであった。虫毒や魚毒等に対する解毒薬など、地域独自のものを期待したが、残念ながら今回の調査ではそのような回答はほとんどなかった。しかしその一方で、キク花の抗腫瘍など、ユニークな民間療法がよく知れていることが分かり興味深かった。伝統的な使用法に加え、現代の様々な情報によって新たな使用法が広まり、それが地域に定着するという、現代社会の中での新しい民間薬のスタイルとも考えられ、興味深かった。

4. 調査に出てきたおもな植物

		
アズキ	アロエ (ベラ)	アンズ花
		
アンズ実	ウコン花	ウコン地下部
		
ウツボグサ	ウメ	カキ
		
カキオドシ	カラタチ実	カラタチ実切

		
カリン花	カリン実	キク花
		
キハダ実	ゲンノショウコ	サツマイモ花
		
サトイモ花	ショウガ	トウガラシ
		
ドクダミ	ナンテン	ニンニク

		
ヒキオコシ	ボケ	ユキノシタ
		
ヨモギ	梅干	ムカデ

第 1 回 地域伝承民間薬調査報告書

©2010

平成 22 年 3 月 30 日 発行

編集・発行 熊本大学薬学部
エコファーマ推進委員会

印刷・製本 (有)米田印刷
〒860-0863 熊本市坪井 6 丁目 21-15
TEL 096-345-0150
<http://www.yoneda-print.co.jp>

内容の一部または全部の無断複写・転載を禁ず。

